

## スポーツフェスタ 2018 によせて

今日は、スポーツフェスタの開催、おめでとうございます。

私が聖母の小さな学校を卒業して、8年ほどが経ちます。聖母での生活を思い出すと、今でも日々を過ごす中で大切なことを学んだ濃い時間だったと思います。

なんで私がこんな目に遭うのか、両親は私のことをどう思っているのだろう、こんな私なんていなくなってしまうといい、そんなことを毎日毎日思っていました。そんな私を聖母で受け入れてくださり、聖母に通うようになって、生きていてもいいのかなど少しずつ思えるようになりました。腫れ物に触るように接する周りの大人とは違って、良子先生や秀明先生は私自身を見てくださいました。中学校に行けなくなって、親の勧めで通うようになった聖母の小さな学校での生活がなければ、今私がどうなっていたか分からないほどです。

スポーツフェスタに向けても、自分の考えや思いを整理しながら、真剣に準備したのを思い出します。とても苦しい作業でしたが、私にとっては「自分」という存在に逃げずに向き合った、意味のある作業だったと思っています。手話歌も、来てくださった方に披露するために毎日練習したことが懐かしいです。私は人前に立つこと自体が恐怖だったので、泣きながら披露しました。毎回スポーツフェスタで手話歌を拝見する時、「みんな緊張しているはずなのに、最後まで堂々とやり切っていてすごい！」と思いながら見えています。そして、日々過ごす中で忘れてしまう「自分は自分」という言葉を思い出します。聖母の生活の中で確かに私が感じた、大切なことを思い出させてくれる時間になっています。

私は今、専門学校で言語聴覚士になるために学んでいます。今でもまだ、人間関係や自分自身に悩むことだらけです。傷ついたり、考えすぎたりして、泣きたくなることもあります。そんな時は良子先生や秀明先生に話を聞いてもらっています。

皆さんはこのスポーツフェスタに向けて、たくさん考えて自分に向き合っていると思います。私もそんな皆さんと一緒に、聖母での学びを大切にしながら頑張っていきたいと思っています。

今年は参加することができませんが、自分に対して真摯に向き合う生徒さんたちがいることは、私にとっても励みになっています。

皆さんにとってこのスポーツフェスタが良いものになることを祈っています。

2018. 10. 13 卒業生